

〔ワケネギ「東京小町」の周年栽培体系における生育特性の解明〕
ワケネギ3系統の春植え露地栽培における収量性と収穫適期の把握

野口 貴・大槻優華・木下沙也佳・海保富士男
(園芸技術科)

【要約】ワケネギの春植え露地栽培における収穫期は、在来系統と比較して「埼玉優良系統」で1週間程度早く、「東京小町」で半月程度遅い。上物収量は「埼玉優良系統」で在来系統と同等以上、「東京小町」で在来系統を下回る。

【目的】

ワケネギ「東京小町」は、周年栽培が可能な品種として平成29年2月に品種登録され、生産現場に普及している。一方で、在来系統（以下、「在来」と略）や「埼玉県優良系統」（以下、「埼玉」と略）との違い、あるいは収穫適期の把握などが不十分とされている。そこで、「東京小町」の作型ごとの収量性や収穫適期について、他の系統と比較しながら解明する。本報では春植え露地栽培で試験を行い、今後の資料とする。

【方法】

「東京小町、在来、埼玉」を2023年2月2日、3月10日、4月6日、5月10日に銀黒マルチ9220を敷設したベッドに定植した。定植は孔あたり1本としたが、「東京小町」では一部2本植えも行った。定植後は「サンサンネットクロスレッド（目合い0.8mm）」でトンネル被覆した。施肥はN-P₂O₅-K₂Oを成分量で20-20-20kg/10aとし、全量基肥で行った。収穫調査は3系統の生育を考慮しつつ同日に行った。

【成果の概要】

- 2月2日定植では7月27日、3月10日定植では8月10日、4月6日では8月21日、5月10日定植では9月12日に収穫調査を行った。定植時期が後になるほど栽培日数は短くなり、同じ春植えでも2月と5月定植では50日間の差が生じた（表1）。分けつを調整して得た株あたり上物本数は、時期や系統により9~33本と開きがあった。株あたり上物本数が20~30本の時期を収穫適期とすると、3系統全てが収穫適期となったケースは稀で、概ね「埼玉」で収穫遅れ、「東京小町」で早すぎと判断された。
- 上物収量は「在来」と比較し、「埼玉」で同等以上、「東京小町」で3月定植を除き下回った（図1）。「東京小町」を2本植えした場合、2月定植では上物本数が2倍になったが、上物重は1.5倍に止まった（図2）。また、4月定植では2本植えしても収量はほとんど変わらなかった。
- 収穫日の適否を踏まえ、春植え露地栽培の暫定的な作型表を作成した（図3）。「在来」に対し「埼玉」の収穫期は1週間程度早く、「東京小町」は半月程度遅くなった。

【残された課題・成果の活用・留意点】

- 秋植え露地栽培およびハウス栽培での収量性や収穫期の把握を行う。
- 暫定的な作型表の再現性を確認するとともに収穫適期期間の把握を行う。
- 「東京小町」の収穫期を判断するための外観形質を明らかにする。

表1 ワケネギ3系統の春植え露地栽培における収量性および収穫日の適否(2023年)

定植日	収穫日	栽培日数	系統	草丈 (cm)	株周り ^a (cm)	株重 (g)	調整重 ^b (g)	調整歩合 ^c	調整本数 (本/株)	上物本数 ^d (本/株)	上物重 (g/株)	上物1本重 (g)	葉鞘径 ^e (mm)	収穫日の適否 ^f
			在来	67	16	422	307	0.73	30	20	268	13.4	4.9	適
2月2日	7月27日	175	埼玉	74	18	535	401	0.75	54	33	349	10.5	4.2	や遅
			東京小町	64	15	369	258	0.70	28	13	210	15.9	5.5	早
3月10日	8月10日	153	在来	71	18	626	426	0.68	46	29	373	13.0	5.9	適
			埼玉	75	18	540	376	0.70	38	26	326	12.7	5.5	適
			東京小町	68	19	620	413	0.67	38	21	327	15.9	5.2	適
4月6日	8月21日	137	在来	63	19	470	271	0.58	39	16	160	10.2	7.2	や早
			埼玉	66	22	560	326	0.58	48	21	194	9.3	6.9	適
			東京小町	60	18	426	202	0.47	31	9	102	11.5	6.7	早
5月10日	9月12日	125	在来	63	-	438	342	0.78	40	32	288	8.9	5.4	や遅
			埼玉	66	-	456	357	0.78	37	32	315	9.9	5.8	や遅
			東京小町	55	-	252	201	0.80	22	17	159	9.4	5.5	や早

a: 葉鞘部中間を測定, 一印は欠測. b: 葉身が2~3枚になるよう皮むき調整した後の分けつの総重量. c: 調整重/株重. d: 葉身2枚以上かつ葉長40cm以上の分けつ. e: 葉鞘中央部の短径を測定. f: 当該の収穫日について, 早: 早い, や早: やや早い, 適: 適期, や遅: やや遅い.

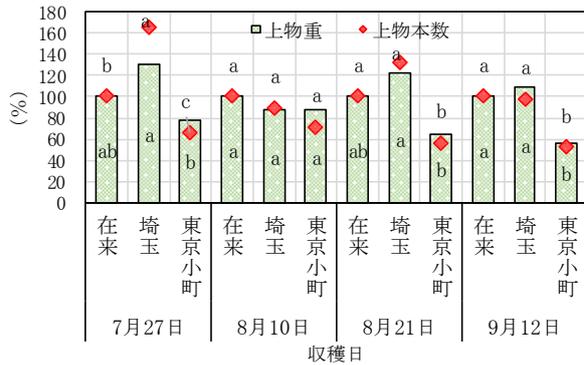


図1 「在来」に対する「埼玉, 東京小町」

の株あたり上物重と上物本数の比率(「在来」を100とする)
 収穫日と同じくするグラフにおいて, 異なる英文字間に5%水準の有意差あり(Steel-Dwassの多重検定, ただし, 検定は実数で実施)

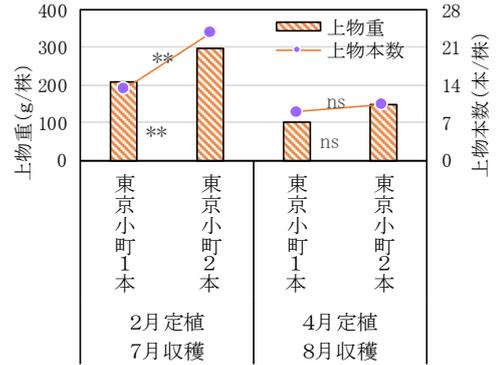


図2 「東京小町」における定植本数が収量性に及ぼす影響

グラフに付した**印はt検定により1%水準で有意差あり, nsは有意差なし.

定植期	系統	月・旬																										
		2			3			4			5			6			7			8			9			10		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
2月上旬	在来	●																										
	埼玉	●																										
	東京小町	●																										
3月中旬	在来				●																							
	埼玉				●																							
	東京小町				●																							
4月上旬	在来							●																				
	埼玉							●																				
	東京小町							●																				
5月中旬	在来																											
	埼玉																											
	東京小町																											

図3 ワケネギ3系統の春植え露地栽培における収穫適期の推定

(●: 播種時期, ■: 収穫期)